

## コンポスト容器の使い方



### 1 コンポストの設置場所

- ・日当たり・水はけのよい場所を選びます。
- ・容器を10~20cm程度の深さに設置する。

### 2 生ごみを容器に投入

#### 投入する際のポイント

- ・生ごみはこまめに入れる。一度に入れると分解に時間がかかってしまいます。
- ・生ごみは刻んで細かくする。(生ごみが大きいと分解に時間がかかり腐ってしまいます。)
- ・生ごみを入れる際には、よく水切りを行った後、容器に入れます。
- ・水分が多いと腐敗し、悪臭や虫がわく恐れがあります。

### 3 投入した生ごみの上から土をかぶせる。

#### 土をかぶせる際のポイント

- ・生ごみが表面に出ないように、土をかぶせる。
- ・もし、悪臭が発生した場合には土を多めにかぶせることで悪臭を抑える効果があります。

### 4 2、3の操作を容器が一杯になるまで繰り返します。

- ・時々、容器の中身をかき混ぜて空気を送ってください。

### 5 一杯になったら、容器を引き抜きよくかき混ぜ土をかぶせ熟成させる。

### 6 黒っぽくなってきたら堆肥の完成になります。

畑や花壇などにご利用ください。

#### 虫がわいた場合

- ・殺虫剤をかければ、害虫はいなくなりますが、堆肥中に殺虫剤の成分が残ってしまい、堆肥としてはあまりよくありません。

#### 対応策の一例

- ・発酵促進剤や米ぬかなどを入れ、分解・発酵を促進し堆肥化を進める
- ・熱湯をかける

※コンポストの使い方、害虫対策は一例になります。必ずしもこのようにしなければならないものではありません。

-問合せ先-

市民生活部環境政策課

クリーン推進係

電話 (23) 8153

FAX (22) 3593